

Course number		U-LAS53 10010 LJ31					
Course title (and course title in English)	超高齢社会の生活と地域 Living and Local Community in Aging Society				Instructor's name, job title, and department of affiliation	Institute for the Future of Human Society Program-Specific Senior Lecturer,SEIKE AYA Institute for the Future of Human Society Professor,HIROI Yoshinori	
Group	Career Development			Field(Classification)		Community Collaboration	
Language of instruction	Japanese			Old group		Number of credits 2	
Number of weekly time blocks	1	Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters	2024・First semester
Days and periods	Tue.4		Target year	All students		Eligible students	For all majors
[Overview and purpose of the course]							
超高齢社会を迎え、高齢者は、支援される対象から社会に貢献する対象への転換が求められている。しかし実際は、地域での居場所がない、他者とのコミュニケーション機会が少ない孤独な高齢者が多く、閉じこもりに伴う鬱病や認知症、虚弱（フレイル）のハイリスク群となっている。また多世代交流の機会も減少し、若者が高齢者に対して無関心になりがちであることも、地域社会での「孤立」「孤独」を助長している。本講義では、京都の文化や歴史性を踏まえた互助・共生や看取りのあり方を視野に入れながら、健やかに老いていくための知恵や方法の習得をめざす。そして、若い世代による共生コミュニティおよび社会システムの企画、政策立案、運営に必要な知識やスキルの習得をめざす。							
[Course objectives]							
老年期のからだ、こころ、生活の変化とそれに伴う課題を包括的に学習し、超高齢社会における課題の明確化、課題解決にむけた企画、政策立案に必要な視点を習得する。							
[Course schedule and contents]]							
14回ともに、講義や演習のイントロダクションと総括は、広井・清家が行う。一部、老年内科学社会的課題の解決にむけた具体的活動については、外部専門家をゲスト講師として招聘する。							
第1講【イントロダクション】「超高齢社会とは」							
第2講【老年期における身体疾患と生活障害】（老年内科学） ・「身体的」に老いるということ ・老年期疾患と生活障害							
第3講【老年期におけるこころの状態と生活障害1】（老年心理学） 心理的に老いるということ							
第4講【老年期におけるこころの状態と生活障害2】（老年心理学） 老年期のこころの変化							
第5講【老年期における社会生活の変化と生活障害1】（老年福祉学） 老年期に関係する社会福祉制度							
第6講【老年期における社会生活の変化と生活障害2】（老年福祉学）							
----- Continue to 超高齢社会の生活と地域(2)							

## 超高齢社会の生活と地域(2)

-----  
老年期の人を支えることの意味と意義

第7講【超高齢社会をめぐる諸課題1】（公共政策学）  
コミュニティとまちづくり

第8講【超高齢社会をめぐる諸課題2】（公共政策学）  
終末期ケアと死生観

第9講【超高齢社会をめぐる諸課題3】（公共政策学）  
社会保障政策に関する諸課題

第10講【老年期に直面する課題への備え4】（医療倫理学）  
ケアする人をケアする意義と課題

第11講【老年期にまつわる社会的課題の解決にむけた具体的な活動1】  
行政のとりくみ（ゲスト：京都市保健福祉局保健福祉部）

第12講【老年期にまつわる社会的課題の解決にむけた具体的な活動】  
行政のとりくみ（ゲスト：京都市地域包括ケア推進機構）

第13講【課題解決の明確化と解決にむけた企画立案1】  
演習発表とディスカッション

第14講【課題解決の明確化と解決にむけた企画立案2】  
演習発表とディスカッション

### [Course requirements]

None

### [Evaluation methods and policy]

平常点（出席状況＋演習参加）＋演習ふりかえりシート＋プレゼンテーション試験

配点の割合は、初回の講義において示す。

### [Textbooks]

プリント配布。

### [References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

（Related URL）

<http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/jp/event2/2014/09/manabian2014.php>（興味関心がある学生の見学参加を歓迎する）

### [Study outside of class (preparation and review)]

演習終了毎に、演習ふりかえりシートを記載。講師よりフィードバックを行う。

-----  
Continue to 超高齢社会の生活と地域(3)

